

元気いっぱい 友だちいっぱい
すくすく学ぼう 夢いっぱい
スマイルで学ぼう 夢いっぱい

横浜市立美しが丘小学校 平成27年11月30日



美小通信 8

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 畠山 真
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

学ぶ力と考える力

校長 畠山 真

小雪が過ぎ、いよいよ今年最後の月、師走を迎えます。朝晩の冷え込みが厳しくなり、北国からは雪の便りが届き、街を行き交う人たちがコートの襟を立てて慌ただしく通り過ぎる様子を見かけるようになりました。

毎朝、児童会の「あいさつ隊」の人たちが門の前に立ち、登校してくる児童に大きな声で、「おはようございます。」

とあいさつをしています。子どもたちの中には、気持ちの良いあいさつをされて、気分よく一日を過ごしている人もいることでしょう。

10月・11月と続いた学校行事も一段落し、子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでいます。スマイルコンサートや全校遠足、美小フェスタと一生懸命に取り組んでいました。いかに協力して取り組むことが大切かよく分かりました。

さて、論語に「**学びて思わざれば則ち罔(くら)し、思いて学ばざれば則ち殆(あやう)し**」という言葉があります。これは、「学ぶばかりで自分で考えてみないとはっきり理解したとは言えない。同様に考えるだけで他から学ばなければ独善的になる。」という意味です。つまり、学ぶことと考えることは表裏一体の関係にあるということです。美小フェスタでは、1年生から6年生までしっかりと準備をし、本番でも立派に発表できました。自分でよく考えて取り組み、他の人から学ぶことで自分を高めることができたと思います。

授業でも同じことが言え、自分で考えたことを発表し、交流しながら他の人の考えを聞いて自分と比較し、さらに自分の考えを深め高めていくことができます。互いに切磋琢磨し、学びを深化させていくことに繋がります。

先日、本校の体育館でPTA 美中ブロックの講演会があり、「池上 正」さん(京都パープルサンガ育成・普及部長)が、「問いかけること」と「ほめること」が大事ですと話をされていました。今まで、サッカーの指導で数十万人の子どもたちと関わる中で、子どもたちに問いかけて自ら考えさせ、子どもたちを叱るよりもほめることが大切だということを教えていただきました。様々な池上さんの話の中で、子どもをしっかりと見てその子の特徴を捉え育てていくことが肝要で、学校と家庭が協力して子どもに考えさせ、良さを認めほめて伸ばしていく教育の必要性を改めて思いました。

そして、28日(土)には横浜市文化体育館で、「横浜市立小学校体育実技発表会」があり本校の6年生が青葉区の代表として出場し、見事な演技を見せ会場を埋めた多くの観衆から大きな温かい拍手をいただきました。6年生が半年以上に渡り、演技の内容を先生と共に考え創り上げてきた結果だと思えます。

あと一か月で2015年も幕を閉じます。ぜひ、来るべき新しい年は、子どもたちに一層学ぶ力と考える力を身につけていってほしいと願っています